

## 訓練設定の際の注意点

- **不審者役の身なり・服装は自然体で**  
…帽子・マスク・サングラス着用ではイメージが固定化されるので避ける。  
また、女性も不審者役を行う。
- **発見者役はさまざまな人が行う**  
…保育者だけが発見者役をするのではなく、園児、保護者などさまざまに設定し、あらゆるパターンに備える。

## 子どもとのかかわり方の注意点

- **訓練前に、保育者の合図や指示に従うことを子どもと約束する**  
…保育者の合図や指示があったら、活動の手を止めて素早く避難できるようにするのも訓練の大事なポイント。
- **指示した場所に子どもが避難できるかどうかを確認**  
…指示した場所に正確にたどり着けるか、子どもの反応はどうかなど、あらゆる角度から安全性を確かめる。
- **職員が不審者役と対峙している場面を子どもに見せない**  
…子どもにショックを与えず、素早く逃げられるよう、「進行方向だけを見て走る」などの指示をして訓練する。

## 防犯用具の扱い方の注意点

- **まず透明ビニール傘などを手に取り対応**  
…透明ビニール傘は、開けば盾代わりになり、先端を不審者に向けると凶器になり、透明で相手の動きも見えるので便利。玄関やホール、保育室などに常備する。
- **拘束網で動きを止める**  
…ワンタッチで網が飛び出して不審者に絡み付き、動きを止められる拘束網。サイズもコンパクトなので、玄関などに備えておく。
- **さすまた・盾で防御力を高める**  
…さすまたや盾は、手に取りやすい場所には保管しにくいので、通常は倉庫や職員室に保管。透明ビニール傘などで対処している間に別の職員が取りに行き、防御力を高める。